

再チャレンジプログラム 第1回

春田 尚純

1 期末対策

(1) 民法（事例問題）

建設現場における事故の責任、損害賠償、保証債務と消滅時効、債権譲渡と対抗、債務不履行、危険負担、詐害行為取消権、将来債権譲渡と相殺、複数契約の解除、契約不適合、賃貸借、債権者代位権、不当利得、不法行為

(2) 民事訴訟法

Unit2 送達・訴訟手続の中断

Unit17 判決効の客観的範囲と上訴の利益

Unit25 再審と判決の無効

Unit18 既判力の時的限界

Unit16 一部請求

Unit21 複数請求訴訟と控訴

Unit4 集団訴訟

Unit19 判決効の主観的範囲

Unit22 補助参加と同時審判申出訴訟

Unit23 独立当事者参加

Unit24 訴訟承継

Unit30 相隣関係訴訟（昨年出題された？）

他3回分でオンデマンドによる重点講義（基本事項の解説等）

（悩み）どこをやればいいのか、どういう風にアプローチすればよいのか

- ・ロー民に書いていることのうち、試験対策に必要な部分がわからない。
- ・ロースクール民事訴訟法の各UNITのこれがわかっておかなければならないという部分を示してほしい。
- ・自学と授業だけでは、重要な部分がぼやけてしまい、どこを理解をまず深めなければならないのか見失ってしまっている。

(3) 刑法

- ① 因果関係、故意、被害者の同意 事例1, 10
- ② 実行行為、原因において自由な行為 事例22, 28
- ③ 過失、過失による正当防衛・緊急避難、複数人の過失 事例44, 45
- ④ 間接正犯と共犯・事後強盗 事例6, 26
- ⑤ 正当防衛・過剰防衛・共犯 事例12, 30

- ⑥ 実行の着手・中止犯・承継的共犯 事例 20, 49
- ⑦ 共同正犯と幫助犯・強盗・同時傷害の特例 事例 18, 50
- ⑧ 窃盗・当品等罪 事例 2, 36
- ⑨ 偽造罪 事例 29, 42
- ⑩ 二項犯罪, 詐欺罪 事例 46, 47
- ⑪ 不作為犯, 遺棄罪 事例 3, 32
- ⑫ 名誉毀損罪, 誘拐罪, 証拠隠滅罪 事例 19, 40, 48
- ⑬ 横領罪・背任罪 事例 15, 34, 39
- ⑭ 公務執行妨害罪・業務妨害罪 事例 11, 17
- ⑮ 放火罪・緊急避難・正犯性 事例 33, 52

(悩み) 事実の量が多い、論点の絡み方が複雑、論点落ちへの対処

- ・財産犯(窃盗、詐欺、強盗)の適用条文が微妙な事例の判断が難しい。過剰防衛と共犯も？
- ・刑法については、授業のテキストが刑法事例演習教材であることから、扱う問題自体が難しく、授業のレベルがかなり上がった印象です。その割には教材の解説もかなりあっさりとしているので、授業の解説を聞いて理解しようとしていますが、内容が難しい分かなり時間がかかりそうです。品田先生のテストは、問題の分量が多く、論点も多いことから、事務処理能力も問われていると前期のテストを受けて感じました。ただでさえ時間が足りないほうなので、テストでの失点がかなり心配です。
- ・刑法応用 2 の授業では、事実が多く、事案が複雑な問題が取り扱われているため、答案構成するだけでもかなり時間がとられる。事案が複雑になった場合にどういう順序で考えて事案を整理していけばいいのかが知りたい。特に、行為者ごとに検討した方が書きやすい場合と行為ごとに検討した方が書きやすい場合の見分け方。
- ・論点落ちの改善方法
- ・事例がかなり複雑になり、難易度があがったように思える。
- ・前期のテストを見る限り、問題の分量が非常に多く処理能力が問われているように思える。

(4) 行政法

- 第 1 回 行政組織法 (どちらかというと救済法？)
- 第 2 回 行政法の一般原則 (実体)
- 第 3 回 行政立法 (前提としての違法：→裁量論ともからみやすい)
- 第 4 回 条例 (委任条例) (前提としての違法)
- 第 5 回 行政行為 (実体)
- 第 6 回 行政行為 無効・取消 (実体)
- 第 7 回 行政行為 職権取消、撤回 (実体)
- 第 8 回 行政裁量 裁量の有無 (実体)

- 第 9 回 行政裁量 行政裁量に対する司法審査（実体）
- 第 10 回 行政手続（手続）
- 第 11 回 行政指導（実体＋手続）
- 第 12 回 行政の実効性確保の制度（行政代執行制度）
- 第 13 回 行政調査
- 第 14 回 情報公開
- 第 15 回 個別法解釈（事例問題演習）

（悩み）テストが難しいので不安、個別法解釈も含め問題の解き方が分からない

- ・行政裁量が必ずでています。
- ・また、先生の問題の傾向として個別法の解釈がよく登場している印象を受けますが、行政法における個別法の解釈については多義的であると思っており、具体的にどの分野を指すのかがよくわかりません。
- ・授業が理解できるが、期末試験が難しいということなので不安
- ・行政法は、去年から苦手になりつつある科目であり、実際試験でも結果が芳しくない科目であるため、基本的なところ含め、勉強の仕方を改めて知りたい。
- ・テストの難易度が高い

授業内容自体は理解できるものが多いが、問題形式になると途端に書き方がよくわからなくなる。

また、分野が有機的にまじりあって交錯していることが多いので混乱しがちになる。パターン化した処理方法があれば教えていただきたい。

2 その他：この時期の勉強のスタンスをどう確立すればよいか

- ・この時期になり、周囲も難しい演習書に取り組んでいたり、司法試験の問題をガンガン解いているという話を聞いてかなり焦っている。
- ・アウトプットから逃げているというわけではないが、司法試験を受けた先輩や 3 年生の予備試験に合格した先輩から、結局基本的なことをどれだけ深く理解しているかが重要という話を聞き、また、春田先生も昨年から一貫して同様のことを仰っていたので、まだ基礎を固めたいと考えている。とはいっても、知識を確認するためのアウトプットは必要なので、それはやりたい。
- ・2 年後期も折り返しを迎えている現段階で、焦りが凄い。現時点で必要な心構えであったり、普段の勉強で意識しなければならないことを聞きたい。春田先生がこの時期どういう考えて日々を過ごしていたか。
- ・後期に授業がない科目や選択科目を触れないのは怖い、時間が取れないことにもあせっている。
- ・勉強時間を確保するという意味でのリズムは作れていると思うが、やらなければならないことが多すぎて、何をすればいいのかわからなく、パニックになることが多々ある。

授業の内容に追われ、余裕がなく毎日を過ごしているため、知識が定着していません。1週間前のことも忘れていきます。間を開けずに繰り返すことが大事だと思いますが、余裕がなくできません。

5 2回目以降の内容

(1) 内容

2回目、3回目、4～5回目

(2) 日程

以上